

“安全で品質の高い仕事を”という経営理念のもと、プラントの構造物の製作や配管、機器据え付けなどを行うと同時に、塗装、総合メンテナンスまで一連のサポートを行う。老朽化した設備や耐震補強、腐食対策などの補修工事などの設計プランも提案している。

現在は“次世代へ繋がる事業”を目指し、食品・農業、再生エネルギーなども含め、様々なプロジェクトに挑戦している。

#### <企業プロフィール>

|      |                   |
|------|-------------------|
| 社名   | 株式会社タカフジ          |
| 創業   | 1989年             |
| 資本金  | 2,000万円           |
| 所在地  | 大分県大分市三佐6丁目2番50号  |
| 代表者  | 代表取締役 佐藤 隆彦       |
| 従業員数 | 67人               |
| 事業内容 | 建設・プラント事業、環境事業、農業 |

#### 【経緯・背景など】

農業の不安定さや課題を聞いたことをきっかけに、自社のプラント技術と経験を活かした農業への貢献ができないか模索。オランダ型の大規模な施設園芸技術なども学びながら、地域の農家と競合しないよう、国産品が非常に少ない健康的な食材であるパプリカの生産に着手。

#### 【具体的な取組】

##### 地熱を利用したパプリカ生産

約10年前、資本参加（共同出資）した農業法人では環境制御システムが導入されていた大規模農業ハウスであったが、生産と農業経営がうまくいっていなかった。その大きな課題はエネルギーコストと栽培技術にあると捉えた。その経験をふまえ、エネルギーコストを大幅に削減し持続可能な農業経営につながる農業モデルを確立する為、地熱エネルギー（温泉）を使った「愛彩ファーム九重」を2015年から稼働させた。地熱利用型の熱交換システムを自社開発し、化石燃料を使用しない、パプリカの周年栽培が可能となった。また、雨水を回収・ろ過する循環型のシステム、センサーで天候や環境のデータを自動計測・制御する技術を取り入れている。

##### 野菜農家のカフェ&レストラン「Art Table いろのわ」

農家の情報発信拠点として2016年「ArtTableいろのわ」（大分市美術館内）をオープン。農家と消費者をつなぐ店舗運営を目指している。農家が持ち寄った食材で料理したり、環境問題や生産者が抱える課題を共有するなど、勉強会や商品開発にも力を入れている。

#### 【取り組んだ成果】

「愛彩ファーム九重」のエネルギーは全て地熱で賄われておりコストがかからないだけでなく、CO<sub>2</sub>排出もゼロを実現。また、通年栽培が可能となったことで、通年雇用が生まれ、メディア等からも注目され、意欲ある人材が自ら希望して来るようになった。現在約40人を雇用。

今後、子ども食堂、グローバルGAPを満たした輸出など事業の拡大を計画中。

